

三菱自動車からのお知らせ

平成23年度(2011年度)のご報告

2011年4月1日~2012年3月31日

ルート
Route



Drive@earth



■ 社長インタビュー

2011年度は厳しい事業環境にもかかわらず、引き続き増益を果たすことができました。今後のさらなる事業の成長に向けた戦略について、社長の益子が皆様からの質問にお答えいたします。



まず、2011年度の振り返りをお願いします。

2011年度は、欧州債務問題による先行き不透明感や、歴史的円高水準などの事業環境の悪化に加え、東日本大震災、タイの洪水などの自然災害の影響で国内外の工場が停止する

など、当社にとって非常に厳しい年となりました。

このような環境下、生産については、全従業員の努力や部品メーカー等、関係者のご尽力により早期に回復することができ、改めて日本のものづくりの強さ、柔軟性を認識しました。

また、今回の教訓を活かすことで災害への備えも、大きく見直すことができたと考えています。

2011年度の業績と2012年度の取り組みについて教えてください。

中期経営計画「ジャンプ2013」の初年度となる2011年度は、大変厳しい事業環境に直面しましたが、全社一丸となって諸施策に取り組み、期初に掲げた利益目標をオーバー達成することができました。しかしながら配当につきましては2011年度も実施を見送らせていただくこととなり、株主の皆様には大変申し訳なく思っております。

2012年度は為替や欧州債務問題、世界の政治状況など不透明な要素が多く、難しい年だと認識しています。しかし、新型車の投入、環境対応、新興国での生産・販売強化などにより前年度比で販売台数増、増収増益の計画としました。事業環境の変化に対応して新たに策定した「アセアンチャレンジ12」など、個々のプロジェクトを着実に実行しやり遂げることで、中期経営計画の業績目標は変更せず、達成を目指してまいります。

今後の生産体制の方向性は？

生産体制はグローバルに考えていく必要があります。

まず、先進国では生産能力の適正化に取り組んでいます。国内では、生産台数に見合った効率的な工場設備の活用を前提に生産を継続します。米国では、新たに現地生産車を投入し、輸出先を拡大することで工場の稼働率向上を目指します。オランダでは2012年末で生産を終了することを決定しました。

一方、需要が伸びている新興国では生産能力の増強を図ります。タイでは、新たに第3工場を

建設し、2012年3月から新型「ミラージュ」の生産を開始しました。アセアン地域では、タイ以外の国でも現地生産を拡大させていきます。ロシアでは新型「アウトランダー」の現地生産、中国では合弁会社の設立と新生産モデル投入の準備を進めています。

2012年度は海外生産台数の増加に伴い、初めて海外生産が国内生産を上回る計画としました。海外生産比率を上げていくことで、為替変動への抵抗力を高め、コスト低減の強化に繋がっていきます。



タイ第3工場で
生産の新型「ミラージュ」

電気自動車に対する 取り組みを教えてください。

当社は、他社に先駆け「i-MiEV (アイ・ミーブ)」
「MINICAB-MiEV (ミニキャブ・ミーブ)」などの



i-MiEV (アイ・ミーブ)



軽トラックEV

電気自動車を販売してきました。価格、航続距離、インフラ整備など、まだ多くの課題がありますが、一つひとつ解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

2012年度には、航続距離の課題を解決する電気自動車派生型のプラグインハイブリッド車および軽トラックの電気自動車を発売し、ラインアップの充実を図ることで環境対応を加速していきます。

2012年6月
取締役社長

益子 修

三菱自動車企業理念

大切なお客様と社会のために、走る喜びと確かな安心を、
こだわりをもって、提供し続けます。

2011年度の決算の概要

円高進行、タイ洪水影響など厳しい事業環境ながら増益

2011年度の売上高は、為替の円高影響を受け、前年度比212億円減の1兆8,073億円となりました。営業利益は円高などによるマイナス影響はあったものの、車種構成や資材費等コスト低減などの改善により同234億円増の637億円となりました。経常利益は同220億円増の609億円、当期純利益は同83億円増の239億円となりました。

販売台数は、アセアンなどの海外市場の牽引により、前年度比で1万4千台増の100万1千台となりました。

日本では、エコカー補助金再開の効果などもあり登録車は前年度を上回りましたが、軽自動車が増るわず同1万2千台減の15万2千台となりました。

北米は、「アウトランダースポーツ」（日本名

「RVR」)の好調などにより米国の販売が増加したことで、同1万2千台増の10万6千台となりました。

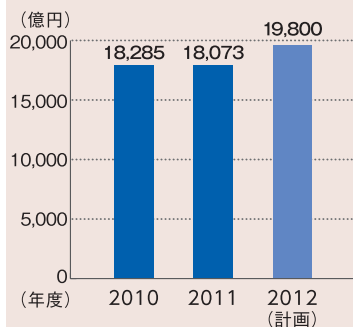
欧州は、需要の減速が見られる西欧地域での販売が前年度を下回ったものの、市場の回復が続くロシアで大きく販売が伸び、前年度並みの21万8千台となりました。

アジア・その他地域では、タイ、インドネシア等のアセアン地域やブラジルをはじめとする中南米地域の好調に支えられ、同1万4千台増の52万5千台となりました。

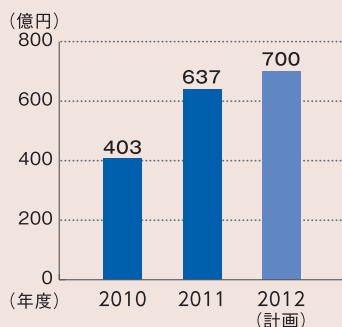
RVR
(アールブイアール)



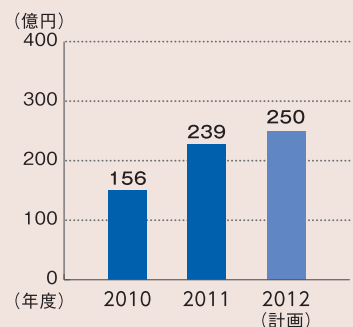
売上高



営業利益



当期純利益



*当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

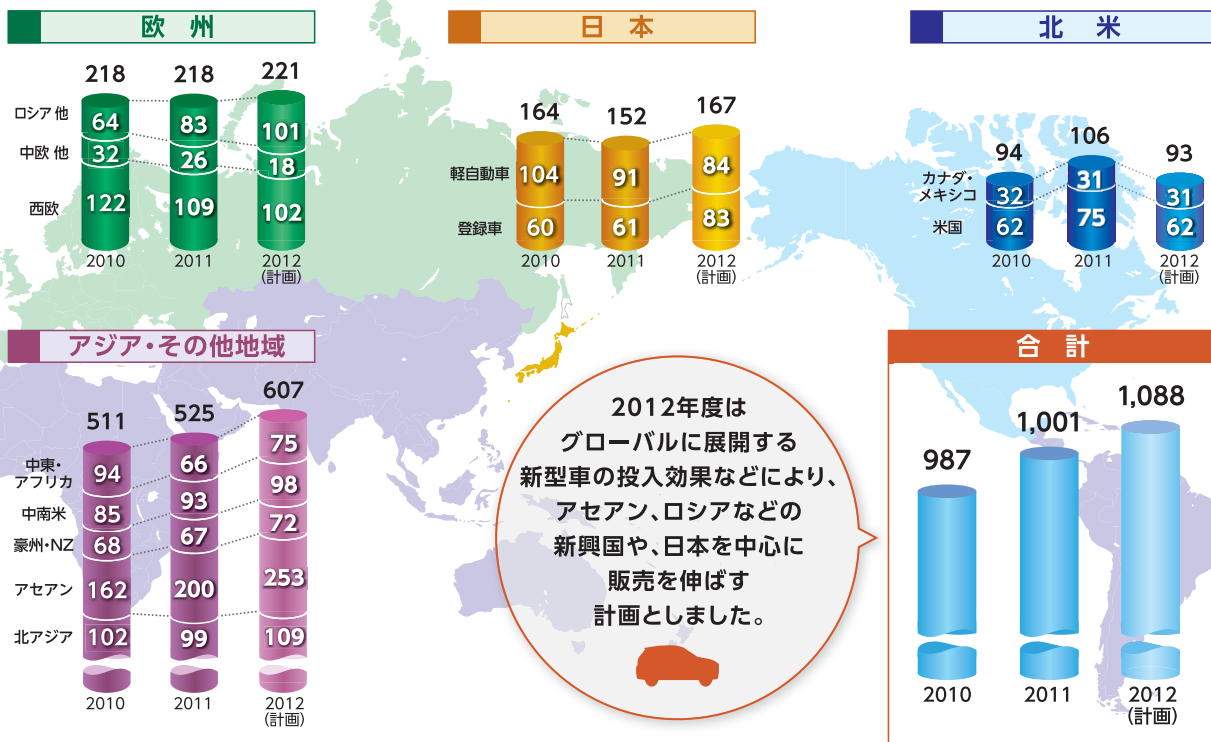
▶2012年度は新型車のグローバル展開で販売台数増、増収増益を目指す

2012年度は収益拡大のための種まきの年と捉え、中期経営計画の基本方針である「成長と飛躍」の実現を目指し、各プロジェクトを推進していきます。

グローバルに展開する新型「ミラージュ」と新型「アウトランダー」の新型車投入効果などにより、全体では前年度比8万7千台増の108万8千台

を計画しています。北米では一部車種の現地生産終了に伴い台数減少の計画としましたが、北米を除く全地域で前年度を上回る販売台数を目指します。それらにより売上高は1兆9,800億円、営業利益700億円、経常利益520億円、当期純利益250億円と前年度対比で経常利益を除き増収増益の計画としました。

地域別販売台数 (単位:千台/年度)



■ 成長と飛躍を担う新型車、いよいよ発進

▶ 新型グローバルコンパクトカー『ミラージュ』

「ミラージュ」は、成長著しい新興国におけるエントリーカーと、先進国における環境対応車という双方のニーズを一つに具現化した、新型グローバルコンパクトカーです。

この車は価格競争力を確保するため、タイの子会社ミツビシ・モーターズ・タイランド(MMTh)の工場生産します。「トライトン」や「パジェロスポーツ」などを生産する既存の工場に加え、生産能力15万台／年の第3工場を新たに建設し対応しています。

今年3月から販売を開始したタイでは、5月時点で、計画を大幅に上回る2万台以上の受注

があり、日本をはじめ、アセアン諸国、欧州各国など、グローバルな飛躍が期待されます。



MMThラムチャバン工場での「ミラージュ」ラインオフセレモニー

プロジェクト担当者の声

表紙にも登場している新型「ミラージュ」は、コンパクトクラストップ^{※1}の低燃費27.2km/ℓ^{※2}

を最大の特長とし、軽量化がもたらす軽快感、運転のしやすさ、ゆとりある室内などを兼ね備えた新時代のエコカーです。

幅広いお客様のご要望にお応えできるよう、お求めやすい価格設定や、選ぶ楽しさのある彩り豊かな車体色にもこだわり



グローバルスマールプロジェクト推進本部
黒畑 あゆみ

ました。きっとご満足いただける1台として、この夏から、日本で発売します。

※1 ハイブリッド車を除く登録車。 ※2 JC08モード燃費・開発目標値。



▶ 新世代環境SUV『アウトランダー』

今年3月、スイス・ジュネーブのモーターショーで披露した新型「アウトランダー」は、“クラストップレベルの低燃費、低CO₂を実現する優れた環境性能”のほか、“先進安全技術の採用による高い安全性能”、“上質で使い勝手の良いインテリア”を商品特長とする新世代の環境対応SUVです。今夏よりロシアで販売を始め、欧州、日本、オセアニア、中国、北米と世界展開を進めます。また、今年度中には電気自動車派生型のプラグ

インハイブリッドシステムを搭載したモデルも追加投入する予定です。2005年に「三菱自動車再生計画」の第一弾として登場した「アウトランダー」が、ついにフルモデルチェンジです。

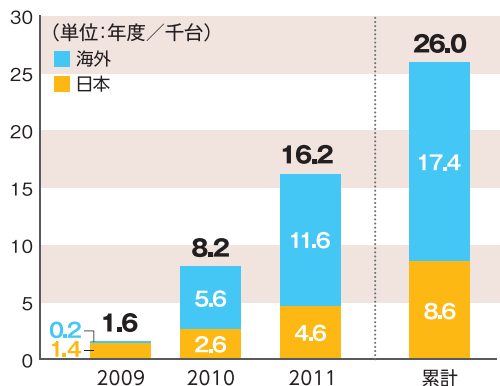


ご報告 ～世界に広がるMiEVシリーズ～

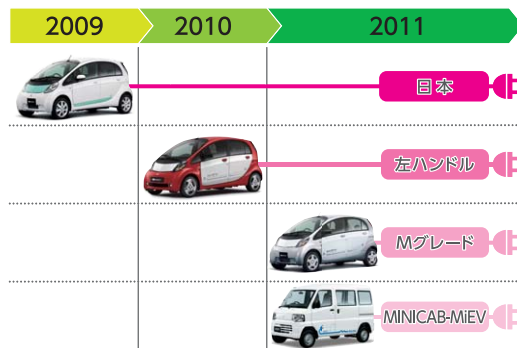
当社は、電気自動車のリーディングカンパニーとして、商品ラインアップを拡充。グローバルでMiEVシリーズを販売し、街で

すれちがう機会も多くなってきました。2012年3月末では、国内、海外を合わせ、累計で2万6千台出荷しています。

MiEVシリーズの実績



MiEVシリーズのラインアップ展開



2011年度連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前年度末 (平成23年3月31日現在)	当年度末 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	317,097	311,631
受取手形及び売掛金	114,432	146,182
商品及び製品	127,457	118,788
仕掛品	24,305	20,088
原材料及び貯蔵品	37,524	48,586
その他	125,969	121,161
貸倒引当金	△10,207	△7,263
流動資産合計	736,579	759,175
固定資産		
有形固定資産	383,564	376,736
無形固定資産	11,856	11,669
投資その他の資産	180,512	173,724
固定資産合計	575,932	562,130
資産合計	1,312,511	1,321,306

科 目	前年度末 (平成23年3月31日現在)	当年度末 (平成24年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	278,595	317,355
短期借入金	219,954	186,690
その他	202,035	199,411
流動負債合計	700,584	703,457
固定負債		
長期借入金	177,995	161,390
その他	185,839	190,838
固定負債合計	363,835	352,228
負債合計	1,064,419	1,055,686
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	657,355	657,355
資本剰余金	432,666	432,666
利益剰余金	△750,200	△726,028
自己株式	△15	△15
株主資本合計	339,805	363,976
その他の包括利益累計額合計	△101,030	△106,982
少数株主持分	9,318	8,626
純資産合計	248,092	265,620
負債純資産合計	1,312,511	1,321,306

▲ 連結損益計算書

(百万円)

科 目	前年度	当年度
	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	1,828,497	1,807,293
売上原価	1,538,879	1,487,267
売上総利益	289,617	320,025
販売費及び一般管理費	249,343	256,350
営業利益	40,274	63,674
営業外収益	17,930	13,409
営業外費用	19,255	16,180
経常利益	38,949	60,904
特別利益	1,350	927
特別損失	9,878	20,212
税金等調整前 当期純利益	30,422	41,618
法人税等合計	11,338	15,239
少数株主損益調整前 当期純利益	19,083	26,378
少数株主利益	3,462	2,450
当期純利益	15,621	23,928

▲ 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前年度	当年度
	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	103,811	119,386
投資活動による キャッシュ・フロー	△52,590	△69,069
財務活動による キャッシュ・フロー	5,037	△52,579
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3,381	△3,208
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	52,875	△5,471
現金及び現金同等物の 期首残高	263,453	316,464
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の 増減額	22	—
非連結子会社との 合併に伴う 現金及び現金同等物の 増加額	112	—
現金及び現金同等物の 期末残高	316,464	310,993

営業利益

前年度から234億円増加

為替の円高影響はあったものの、台数・車種構成等の改善やコスト低減などにより、前年度と比べ 234億円の増益となりました。

有利子負債

前年度末から498億円減少

長期借入金の約定弁済などにより 3,481億円と、前年度末と比べ 498億円減少しました。

営業キャッシュ・フロー

前年度から156億円増加

運転資本の増加などにより、前年度の1,038億円の収入から1,194億円の収入へと、156億円増加しました。

財務諸表（単独・要旨）

貸借対照表

(百万円)

科目	前年度末 (平成23年3月31日現在)	当年度末 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	488,010	512,477
固定資産	476,670	461,216
資産合計	964,681	973,693
(負債の部)		
流動負債	569,672	584,487
固定負債	278,337	250,315
負債合計	848,009	834,803
(純資産の部)		
株主資本	106,276	127,206
評価・換算差額等	10,395	11,683
純資産合計	116,671	138,890
負債純資産合計	964,681	973,693

● 会社の概要

(平成24年3月31日現在)

社名	三菱自動車工業株式会社
本社	〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号 TEL: 03-3456-1111(大代表)
設立	昭和45年4月22日
従業員数	連結: 30,777名 単独: 12,720名
資本金	657,355,059,926円

損益計算書

(百万円)

科目	前年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	当年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	1,472,198	1,427,599
売上総利益	123,114	148,964
営業利益(△は損失)	△7,855	15,137
経常利益(△は損失)	△2,887	19,642
税引前当期純利益(△は損失)	△6,285	19,384
当期純利益(△は損失)	△5,560	20,930

三菱自動車ウェブサイト投資家情報ページ

http://www.mitsubishi-motors.com/publish/ir_jp/index.html

決算情報やプレスリリースなど、IRに関する情報をタイムリーにお届けするIRニュースメールの配信サービスを開始しました。
ぜひご活用ください。



発行可能株式総数	9,961,597,000株
(内訳) 普通株式	9,958,285,000株
A種優先株式	438,000株
B種優先株式	374,000株
C種優先株式	500,000株
D種優先株式	500,000株
E種優先株式	500,000株
F種優先株式	500,000株
G種優先株式	500,000株
発行済株式総数	5,538,394,433株
(内訳) 普通株式	5,537,956,840株
A種優先株式	99,000株
G種優先株式	338,593株
株主数	372,188名
普通株式	372,188名
A種優先株式	12名
G種優先株式	4名

役員

(平成24年6月26日現在)

取締役	西岡 喬*	取締役会長(三菱重工株式会社相談役)	監査役	村本 修三	監査役(常勤)
	益子 修*	取締役社長		木村 英生	監査役(常勤)
	市川 秀*	取締役副社長		三木 繁光	監査役(株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問)
	春成 敬*	取締役副社長		岡本 行夫	監査役(株式会社岡本アソシエイツ代表取締役)
	上杉 雅勇*	取締役副社長		野島 龍彦	監査役(三菱重工株式会社取締役常務執行役員)
	相川 哲郎	常務取締役			
	青砥 修一	常務取締役			
	太田 誠一	常務取締役			
	中尾 龍吾	取締役			
	福田滝太郎	取締役			
	佐々木幹夫	取締役(三菱商事株式会社相談役)			
	矢嶋 英敏	取締役(株式会社島津製作所相談役)			

注)1. *印は当社における代表取締役を示しています。

2. 取締役 佐々木幹夫氏および矢嶋英敏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
3. 監査役 三木繁光氏、岡本行夫氏および野島龍彦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式手続のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	上記のほか必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載アドレス) http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html
1単元の株式数	普通株式は1,000株 優先株式は1株
証券コード	7211
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
郵便物送付先・電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)

従来、株主の皆様へ定時株主総会の決議ご通知を個別にご送付しておりましたが、本年より決議の結果につきましては、当社ウェブサイト又は臨時報告書において開示することといたしました。なお、当該開示をもって決議ご通知にかえさせていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。
(http://www.mitsubishi-motors.com/publish/ir_jp/stockinfo/meeting.html)

※住所変更、単元未満株式買取請求、その他各種お手続き等のご請求について

1. 証券会社等の口座をご利用の場合…お取引の証券会社等にお問合せください。
2. 「特別口座」に記録されている場合…三菱UFJ信託銀行株式会社(TEL:0120-232-711)にお問合せください。

三菱自動車からのお知らせ Route

三菱自動車工業株式会社 平成23年度(2011年度)のご報告
広報部 平成24年6月発行 〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号
TEL:03-3456-1111(大代表) <http://www.mitsubishi-motors.com/jp/>



表紙のイラストの中にはクマが隠れています。探してみてくださいね。

表紙：三菱自動車 デザイン部 熊谷周作

